

南部町法光寺のマツの保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県三戸郡南部町法光寺地内
名木の名称	法光寺松並木 推定樹齢250年
名木の所有者	法光寺
治療年月日	平成25年9月25日
樹木医による 名木の診断内容	樹勢の衰弱は激しく、主枝は下枝の数段が枯損し、枝条も枯れが目立ち疎らである。球果も小さくなり、現在も衰弱の頻度が激しく、早期に応急治療が必要である。 参道入口の一本は、道路造成時に根元盛土が衰弱原因となっている。 また、No2のアカマツは、主幹部が東側に開口腐朽となり、樹冠の一部は隣接する杉等により被圧されている。
実施した治療内容	No1 根系の道路盛土を排土し、土壌改良工を実施することにより、盛土に弱いマツの根系を活性化した。発根促進剤を散布した。 No2 根系周辺の土壌改良工を実施した。被圧しているスギを伐倒処理し、日照を確保して、生育の健全性に努めた。発根促進剤を散布した。
今後の名木に 対する留意事項	No1については、根元に盛土しないように注意する。 No1、No2とも、根元周辺の落葉を除去して、菌根菌の減少環境を阻止するようにする。



南部町法光寺

法光寺松並木の木です。



土壌改良工実施中



発根剤と養生剤の散布